

高山市自治体経営戦略調査等業務委託

プロポーザル審査要領

(目的)

第1 この要領は、「高山市自治体経営戦略調査等業務委託」における契約候補者を選定するためのプロポーザル審査方法について定めることを目的とする。

(審査の方法)

第2 契約候補者選定の審査方法は以下のとおりとする。

(1) 審査委員

審査委員は、「高山市自治体経営戦略調査等業務委託プロポーザル選定委員会設置要綱」の定めるところによる。

(2) 企画案、事業実施能力等に関する審査

ア 各項目における評価点の合計点は100点とする。

イ 審査項目及び配点は、別紙1「審査項目及び評価内容」のとおりとする。

(3) プロポーザル審査の対象

市が別に定める提案書等の関係書類及びプロポーザル提案者からの説明等(プレゼンテーション)とする。

(4) 契約候補者の決定方法

各審査委員の別紙2「プロポーザル審査表」における採点の合計を各提案の点数とし、各審査委員の採点の合計点により順位を付す。採点結果に基づき、予算の範囲内で契約候補者を1～2団体程度選定する。

(5) 複数の同得点者が生じた場合

複数の同得点者が生じた場合は、それらの者のみを対象として再審査を行い、順位を決定する。

再審査においても複数の同得点者が生じた場合は、各委員の協議によって順位を決定する。

(6) 最低基準

各審査委員の採点の合計が、評価基準点の合計値の6割以上であることを最低基準点とし、最低基準点を満たさない提案者は選定の対象としない。

(7) 応募者が1者の場合又はない場合の取扱い

最低基準点を満たす場合は、当該提案者を契約候補者とする。最低基準点に満たない場合又は提案者がいない場合に、事業を実施する場合は、再度公募を実施する。

(その他)

第3 この要領に定めるもののほか、審査会の運営に関し必要な事項は、その都度協議の上、決定する。

附 則

この要領は、平成25年6月10日から施行する。

高山市自治体経営戦略調査等業務委託

審査項目及び評価内容

以下の各項目の評価内容に基づき、各項目の配点の合計を100点満点として採点し、各審査委員の採点数の合計により算出する。

審査項目及び評価内容	配点
1 妥当性	70 点
○企画の妥当性 ・業務委託仕様書中、3. 業務内容、(1) 現状分析について 当市の現状を踏まえた自治体経営全体の現状分析の方法等の提案があるか 20 点 ・業務委託仕様書中、3. 業務内容、(2) 施策評価について 外部有識者を活用した効果的な分析、評価の方法等の提案があるか 20 点 ・業務委託仕様書中、3. 業務内容、(3) 経営戦略立案について 経緯戦略立案にあたり、外部有識者の意見の集約、会議運営の方法等の提案があるか 20 点 ・その他業務全般について、当市にとって有益な業務提案があるか。 10 点	
2 実現性	20 点
○企画の実現性 ・提案業務を適切にかつ確実に実施できる能力（実施体制、経営基盤、人材等）を有しているか。 10 点 ・次の各業務の受託実績はあるか。 自治体経営における現状調査、分析業務（※1） 政策、施策、事務事業の評価支援業務（※2） 有識者会議等の運営支援業務（※3） 10 点	
3 経済性	10 点
○事業規模・見積金額の妥当性 ・提案業務と見積金額とのバランスはとれているか。 10 点	
計	100 点

※1…統計資料、市民の意向（市が実施するアンケート結果）等をもとに、自治体経営全般について効果的な手法を用いて現状分析を行う業務

※2…自治体の政策、施策、事務事業について達成度や成果について評価を行う業務。

「政策」とは大局的な見地から地方公共団体が目指すべき方向や目的を示すもの、「施策」とは政策目的を達成するための方策、「事務事業」とは施策目的を達成するための具体的な手段のことをいう。

※3…有識者会議等（多くの意見や提案を受けるために専門家や市民などで構成される会議）の開催案内、会議資料の作成、会議の進行、会議結果のまとめなどの一連の業務

高山市自治体経営戦略調査等業務委託

プロポーザル審査表

提案者	
-----	--

審査（採点）者： _____

審査項目及び評価内容	配点	コメント
1 妥当性	／70 点	
○企画の妥当性		
・業務委託仕様書中、3. 業務内容、(1) 現状分析について 当市の現状を踏まえた自治体経営全体の現状分析の方法等の提案があるか	／20 点	
・業務委託仕様書中、3. 業務内容、(2) 施策評価について 外部有識者を活用した効果的な分析、評価の方法等の提案があるか	／20 点	
・業務委託仕様書中、3. 業務内容、(3) 経営戦略立案について 経緯戦略立案にあたり、外部有識者の意見の集約、会議運営の方法等の提案があるか	／20 点	
・その他業務全般について、当市にとって有益な業務提案があるか。	／10 点	
2 実現性	／20 点	
○企画の実現性の有無		
・提案業務を適切にかつ確実に実施できる能力（実施体制、経営基盤、人材等）を有しているか。	／10 点	
・次の各業務の受託実績はあるか。 自治体経営における現状調査、分析業務（※1） 政策、施策、事務事業の評価支援業務（※2） 有識者会議等の運営支援業務（※3）	／10 点	
3 経済性	／10 点	
○事業規模・見積金額の妥当性		
・提案業務と見積金額とのバランスはとれているか。	／10 点	
計	／100 点	